1 軸配向高分子材料の2次元検出器測定

概要

従来、1軸配向高分子材料の評価として、繊維試料台を用いた透過対称光学系で測定されていたが、 最近、2次元検出器を用いた透過非対称光学系で測定される事がある。

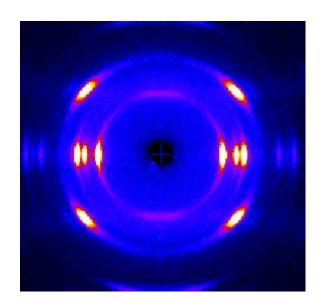
非対称光学系測定データを対称光学系へ変換すれば、従来と同様な計算が可能になる。

対称光学系

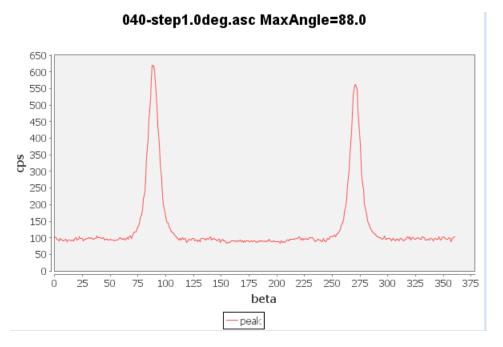


非対称光学系

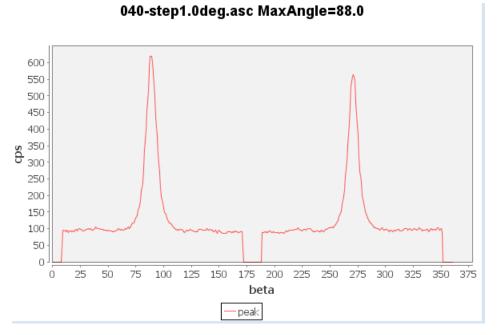
2次元検出器測定データ



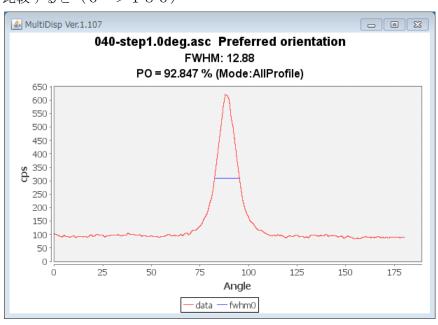
βプロファイルを切り出してみると

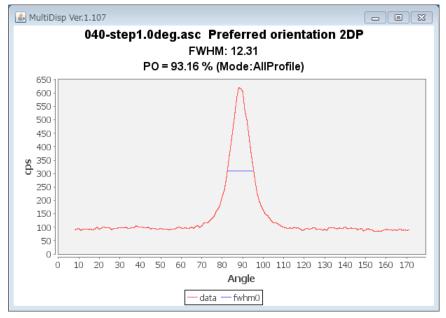


測定 $2\theta = 17$. 0度の場合 β : 0. 0->360度の測定データは 8. 5->171. 5度のデータに変換されます。角度が圧縮されます。



半価幅で比較すると(0->180)





12.88度が非対称補正を行うと、12.31度になります。 半価幅も圧縮されます。

非対称補正をサポートしているソフトウエア

配向分布関数を計算する、FiberSimpleOrientationソフトウエア

